

# 新山協ニュース

▲ 発行者 平田大六 ▲ 発行所 新潟県山岳協会  
〒951 新潟市下旭町109 鈴木敏雄方 TEL025-222-9548

挨拶



会長 鈴木敏雄

県下岳界の大同団結により、発足した新潟県山岳協会は、当時42団体の加盟が現在78団体と大規模な協会へと発展し活動しております。

その間、20年余の長きにわたり協会組織の運営はもとより、県民の正しい登山の啓蒙普及、指導と数々の偉業を成し遂げ今日の山岳協会隆盛の礎を築き、優れた豊かな山歴史と、そのお人柄から県下の岳人に慕われた前会長の室賀さんが、このたび退任されることとなり、その後を引き受けましたものの、その重責に身を引きしめ若輩非才の私にとっては、真に容易ならぬことと痛感いたしておる次第でございます。

幸いにも頼みとするところは、協会人事の殆どの方々が、或いは山で、ある時は街でと、長年お付き合いをいただいた気心の知れた仲間であるということが唯一の頼みの綱で、これからもお互いの友情と信頼感を協会運営の基調として隔意のない話し合えるムードの中で、組織の充実を期したいものと念じ、加盟団体の会員皆様にも仲間同士の交流を更に押し拡げ、相互の親近感と連帯意識を盛り上げていただきたいと願っております。

ご承知のように、当県は非常に大県であり、それなりに色々と条件の揃った山々にも恵まれ、古くから山岳信仰や多くの山の先覚者も輩出して、このの風土に培われた私達もその影響を受けてか、各山岳会はそれぞれ持ち山を持った職域の会、同好の山岳会が生まれ、活発に活動していることは非常に喜ばしい事であり、今では全国屈指の山岳県と称賛される由縁ともなっていることは事実であります。

しかしながら、一部ではこれも県民性の現れでしょうか。越後人特有のものか、ややもすれば寡黙実行の人が多く消極的な感じもするが、願わくは県下一円を網羅する加盟団体の会員は、積極的に協会活動の活用とこれの行事への参加や、又各山岳会の主催行事等により、より一層視野を広め友好団体との親睦交流を深めて、自己の登山をより豊かにより高きものへと育てあげて欲しいものです。

それがためには、当協会は県下皆さんの拠り所となる確固たる基盤も必要であり、その基盤整備のため協会組織にそれぞれ専門分野の各専門委員会を設け、各々その分野における制度の運営強化を図っておるところであります。が、ややもすればマンネリ化の傾向も多少見受けられるところから、ここで更に一段と各専門委員会組織の見直しと、委員会相互の連携強化を図ることとも一考を要する事項と思量されるところであります。

不動のものと定着しており、これを更に肉付けした名実ともに越後らしさの協会へと、立派に成長した経緯を踏えて、加盟する各団体、会員一人一人の皆さんは大きな誇りを持ち、お互いに協調し、更に新しさを求めて充実と飛躍を図るよう請い願うものであります。

(下越山岳会)



## 山岳協会会長退任に当って



室賀輝男

平成7年4月9日の新潟県山岳協会評議員会に於て会長を退任させて頂き、新会長鈴木敏雄さんにバトンを渡しました。

昭和50年4月、県山岳協会の創始者藤島玄先生のご推挙で、総会で会長に選任されてから20年間、会員の皆様のご理解とご支援を戴きましたことに厚く御礼を申し上げます。在任期間を省みて改めて登山界を取りまく環境の変化のおおきさを痛感致して居ります。親睦を中心に安全登山、技術指導、国民体育大会登山部門などの活動から、国体登山の競技化、自然保護、遭難対策、中高原登山問題、国際交流、フリークライミングの出現、生涯学習の振興のためのスポーツ指導員制度への取り組み等々、責任山岳団体としての業務、活動が大きく質的变化を遂げ、この対応に協会の皆さんから

それぞれの分野で大変なご迷惑をかける結果となりました。特に組織を支えるための厳しい財政運営には、役員諸兄の財政負担に拠出で賄って戴いたことは、如何にも申し訳なく心残りであります。国際化社会の進む中で81年5月韓国晶元山岳会、92年11月中国青海省登山協会と兄弟契約を締結、活発な国際交流を進めたことは、協会の歴史に残る事業であり、特に高校生の海外

派遣を軌道に乗せることが出来たことは特記されねばならず、更に継続への努力を心から期待します。

21世紀へ向け県民に期待される希望と歓喜にあふれる協会づくりには、専門分野の力と活動に大きく期待します。委員会が単なる上部団体との連絡、伝達に止まらず、専門分野での会員の英知をあつめ、事業活動を具体化し真剣に行動する委員会組織への成長を心から期待します。

熱気に満ちあふれる会員の皆さんの益々のご健勝と、ご多幸を祈り私の御礼の言葉とします。(平成7年4月10日)

## 私の植物遍歴

## 高山植物によせて

むささび会

加藤明文

「山は観察力だ。観察が出来なければいくらあそこへ行っても、ここも行ったと回数をおまじりてても紙屑のようなもので、いや、ゴミだよ……」とは越後の山の先駆者故藤島玄先生の言葉です。

これはある山の会の宴会で酒を注ぎに来た人達に対して言われた教えですが、中には腹を立てている人も居ました。

がまあまあだと認められたのでしよう。そこで前言の教訓が出たのです。いわば慈愛に満ちた一言だったのです。

それから暫くして妙高山から帰った友人が写真を持って遊びに来た。合宿の仲間達の様々な表情の写真を一通り一遍に見ていたら、たった一枚青空に真白なワタスゲの花(本当は実)ウーン、身体が熱くなり鼓動の高鳴りを覚えた。好きな友人なのに嫉妬心が湧いてくる思いだった。「お前になぜこんな素晴らしい写真が撮れるんだ……」と。

花を見つけるとめっちゃ写真を撮りだしたのはそれからである。名前を調べて整理して、落ち着いて一枚一枚見ると自分の思惑とはほど遠いそれこそクズ写真ばかりである。落ち込み苦しむこと数年。やっと光が射してきた。それはどんな写真の名人でも山を知らなければ山は撮れない。山の花もしかり、良く山を観て花を知ることです。よし、今度は自分の方から合いたい花を訪ねてみよう。花の名前を覚えようと登山し、もう一つの希望をかなえようとする。

さあ大変だ。この花のある山は、時季は、乾性(岩)湿性(湿地)林内など場所は?

と調べると今度はどこからどう登って、どこで野宿をして時間を合わせる等(時間と天気は大きなポイント)苦労して合いたい花に合った時、喜びが先にきてカメラを出すのを忘れてしまう。そうではなく、しばしの語らいの中でポーズを作ってもらうのです。それは朝露が真珠のように飾ってくれたり、赤い夕日に装いを替えてくれたり、雨のシャワーではしゃいでくれたり……

と。そして脇役の自然も非常に大切だ。岩肌の色、緑の草原、樹林、砂のうねり、落ち葉の一枚でこれ程も……等。良く観て、良く観て、急がずに、山は観察力だ。これが本当に山登りの価値であり、体力に合ったゆとりのある山を楽しいことにこの歳になってようやく目覚めたのです。このように遅れて始めた人達に、存分に山を知り楽しんでもらうために観察の喜びを伝えよう。

藤島玄さんの一言と、一枚の写真が動機で私の山登りが大きく転換した。そして多くの植物を知ることができ、登山の熱に勢いを得る註文となった。登山の楽しみが倍増したのである。

豊かな日本の自然の美しさ



# 日本山岳協会 競技審判員制度の改定について

国体常任委員会

(社)日本山岳競技指導員制度の(財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度移行に伴い、国体山岳競技を主とする競技審判員規定をつぎにより改定する。

## 1. 主な改定点

山岳競技改革に伴い審判員の資質の向上及び専門化が早急に望まれるため、

- ① 審判員の資格を日本体育協会の公認スポーツ指導員制度に移行する
- ② 山岳連盟(協会)の審判員養成を容易にする
- ③ 更新時研修の義務化

を、改定の目的とした。

### (1) 審判員規定(資格、種類)

種類	資格(現行)	資格(改定)
中央審判員	第2種指導員以上	日体協公認C級指導員 又はC級コーチ以上
地区審判員	地区指導員	岳連(協会)会長が推薦し、日本山岳協会所定の講習会、研修会を終了した者

### (2) 審判員選考規則(業務)

業務	現行	改定
審判長	中央審判員 第1種指導員	中央審判員 日体協公認B級指導員、又はB級コーチ以上で競技会の審判業務経験者の中から選任する
副審判長	中央審判員 第1種指導員	中央審判員 日体協公認C級指導員、又はC級コーチ以上で競技会の審判業務経験者の中から選任する
主任審判員	中央審判員 第1種指導員	中央審判員 日体協公認C級指導員、又はC級コーチ以上で競技会の審判業務経験者の中から選任する
副主任審判員	中央審判員 第2種指導員以上	中央審判員 第2種指導員以上
審判員	地区指導員 地区指導員以上	地区審判員以上の中から選任する

### (3) 更新時研修

審判員は審判員資格更新時に、日山協の定める講習会又は研修会に出席し、所定の講習を終了しなければならない。

2. 実施期日 平成7年4月1日

高所では、食欲中枢、渇き中枢の鈍化(機能低下)があり見掛上食欲がない、喉が渇かないということがあふ。食べられない、飲みたくないように見えても、案外食べられたり、飲めたりすることがあるので食べさせてみることも必要です。

必要の場合もある。中高年は随時カロリーを摂取することは難しい。どうしても、朝出発前に、米飯でカロリーを蓄えておかなければならない。パンやラーメンでは、米飯に比し血糖値が保てない。朝飯勝負ですよ！  
高カロリーが摂れなければ、仕事量を減らさなくてはなりません。仕事量(重さ「自分の重さ+荷の重さ」×高さ)を減らすためには、体重を減らすか、荷を減らすかですが、パッキングや歩き方も大切です。山では消化、吸収、酸素の働きが低下してきますので「糖類、澱粉も良い。また、山では地上で食べられたものが食べ難いという嗜好の変化が起ることがある。甘い物が食べられなくなったりします。一般的には、甘みに少しクエン酸(レモン)を加えると摂取しやすくなります。

5 水を飲んでも治らない脱水喉が渇くと2%の脱水と

言ったが、それ以上だと深刻である。6%になると尿がおき、10%以上では生命の危険。しかも、6〜7%になつてくると、水だけ補っても脱水は改善しなくなる。塩分を含めた急速な点滴が必要になります。口渇き以外の症状として、頭痛、頻脈、乏尿、体温の低下、更には意識障害、痙攣がおきる。

6 水とスポーツ飲料の違いは、スポーツ飲料の出現は、発展途上国の下痢の問題に

7 登山と食事  
登山中は1時間に500〜700カロリーの熱量が

## 中高年安全登山 指導者講習会報告 ④

理事 田 辺 信 行

をより多くの人々に知ってもらい、一つでも多くの植物の名前を覚えてもらうためにも、山行を通じて藤島さんの心を伝えたいと思う日々である。

命の危険。しかも、6〜7%になつてくると、水だけ補っても脱水は改善しなくなる。塩分を含めた急速な点滴が必要になります。口渇き以外の症状として、頭痛、頻脈、乏尿、体温の低下、更には意識障害、痙攣がおきる。



# 平成7年度 日本山岳協会 国体委員会総会 報告

国体委員長 森 庄 一

日時 平成7年4月2日

10時～14時30分

場所 東京都渋谷区  
岸記念体育会館

401・402会議室

出席者 日山協 瀬島専務理

事 山崎クライング委員

長 関口国体委員長 外国

体委員21名

各県岳連 34名(内11名日

山協国体委員兼務)外1名

福島県山岳競技連合実行委

員会2名 広島国体審判長

総勢48名

## 総会次第

1 開会のことは

2 会長あいさつ

3 委員会あいさつ

4 議事

(1)平成6年度報告

(2)愛知国体実施報告

(3)平成7年度業務計画

(4)福島国体について

(5)連合実行委員会あいさ

つ

(6)準備状況報告

(7)ゼッケンについて

(8)地区別出場チーム割当数

(9)その他

5 閉会のことは

6 事務連絡

(1)審判員の認定と登録

(2)国体参加者障害補償制度

(5)福島国体成年男子A・B  
隊編成

(6)広島国体正副審判長につ

いて

(7)次期開催県の準備状況に

ついて

(8)第51回広島国体

(9)第52回大阪国体

(10)第53回神奈川国体

(11)国体山岳競技第2ステッ

プの競技概要について

(12)審判員制度の改訂につ

いて

(13)その他

5 閉会のことは

6 事務連絡

(1)審判員の認定と登録

(2)国体参加者障害補償制度

議事報告

(3)国体委員総会 4/2

今後は4月の第1日曜日

に固定したい。

国体常任委員会 毎月第

3木曜日 上京の折には

顔を出してほしい。

(4)愛知岳連から報告と御礼。

(5)業務計画の発表あり積極的

に取組むとの意思表示あり。

(6)あいさつ 県番号と県名を

表示したゼッケンを準備す

る。

準備状況の報告 5月一杯

は残雪あり 現地調査は6

月中旬からがよい。R施設

(タワー) H30m W8m

5月一杯でポード張りハー

サル後修正のうえ案内を出

す。

(4)平成13年 第56回大会まで

決定。

(5)抽選により決定 新潟県は

B隊。北信越の他県はA隊。

(6)正副審判長発表。あいさつ

(7)広島市から西へ車で45

60分 中国道・山陽道I

Cから30分程度。Rは人

工壁H 15+13m W15m。

(8)Rは人工壁設計済 オン

サイト、リード方式で実

施したい。

(9)Rは人工壁設計済 オン

サイト、リード方式で実

施したい。

(10)Rは人工壁設計済 オン

サイト、リード方式で実

施したい。

(11)Rは人工壁設計済 オン

サイト、リード方式で実

施したい。

(12)Rは人工壁設計済 オン

サイト、リード方式で実

施したい。

(13)Rは人工壁設計済 オン

サイト、リード方式で実

施したい。

ととし、少年にもRを取り

入れたい。

T、Sの実施時期は会場地

がほぼ10年前に決定されて

いるので引受け市町村の状

況により実施すりこととし

たい。

(9)①審判員の資格を日本体育

協会の公認スポーツ指導

員制度に移行する。

(10)山岳連盟(協会)の審判

員養成を容易にする。

(11)更新時研修の義務化を改

定の目的とし、平成7年

4月1日から実施する。

(12)広島Sは緑公開に近いエリ

アにしたい。

(13)大阪Rは第2ステップの前

倒しで実施したい。

6 事務連絡

(1)審判員について C級以

上は中央に移行。認定、

登録について旧地区審判

員は更新の時期から中央

に移行(No.2101から)

本年認定はNo.3001か

ら

(2)加入負担金が300円に

なった。

## 訂正

98号新役員名簿鈴木敏雄会  
長の所屬、下越山岳会でした。  
訂正願います。

## 遭難事故

### 報告書の発行

高田ハイキングクラブ中江  
弘弥氏が平成6年2月27日海  
谷山塊の鉢山で、雪崩遭難に  
遭って死亡された事故経過と  
深層分析研究された報告書が  
完成し、関係者に配布された。  
当時の登山隊の記録、救助  
隊の動き、上越地方の気象状  
況等の事故診断と追悼の文集  
構成になっている。  
故人の最近5年の山行記録  
をフィルムネガより掘り起こ  
した編集の苦勞を見て、その  
山行の多さは、本当に惜しい  
人であったと思う。 合掌

## 登山用品専門店

信頼できるパートナー

## 大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736